

## 先進諸国に見る健康産業の国際比較分析

### - 我国の現状分析をふまえて -

北海道小樽商業高等学校 清水 徹

欧米の先進諸国では、既に定着化している健康産業（Health Industry：医療産業＋健康保持増進産業）も、我国にあっては、ここ数年間、伸長を見せたものの、現在のところ、ベンチャー・ビジネス的産業として位置付けられている。

本研究の目的は、我国の健康産業の現状を経済と金融の両側面からマクロ的に分析を行なうと共に、欧米先進諸国との比較を行ない、今後の我国の健康産業の将来像を探求することにある。

本研究の方法としては、一般的な経済学の方法に基づき、実証データと文献的研究手法を用いた。実際に日欧米の健康産業の生産現場にも立会い、また、高齢者に必須の機能性健康補助食品に含有の低分子アラビノキシラン(Arabinoxylane)という物質がヒトの免疫力を賦活させ、健康の保持増進やガン、難病にも効果を上げているという試験データ等も交えて、我国の健康産業の確立・進展の経過を分析し、将来像の総合を試みた。

その結果、健康産業は、高齢化社会へ向かう我国、また、欧米諸国にあっては、市場の新規開拓の十分に残された領域であると言え、金融関係諸機関の一つの着眼点として、健康（ex. 健康補助食品）・福祉産業（ex. 介護製品）資本との提携やそれら対象の Retail にあっては、Internet Banking、或いは、Mobile Banking 上のサービスのより一層の普及・簡略化等を上げることが出来る。

#### 【参考文献】

iHEA “Journal of Health Economics” Vol.20, No.3, May 2001. AEA “The Journal of Economic Perspectives” Vol.14, No.2, Spring 2000. 清水徹「Analysis and Synthesis with regard to Inflation in Each Country of the World」国際経済学会編『国際経済』第50号1999年6月15日。 John D. Graham, etc. “The Greening of Industry : a risk management approach” Harvard University Press, 1997. WHO “The World Health Report”1995-2001. “Abstracts of 7<sup>th</sup> International Symposium & Workshop 2001 of the International Society for Research in Healthcare Financial Management” 9-11, August 2001. (et al.)